



第17回
福岡デザインアワード

17th
FUKUOKA
DESIGN
AWARD
2015

*Good design is
Good business.*

Greeting Message ごあいさつ

小川 洋 福岡県知事

Ogawa Hiroshi

第17回福岡デザインアワードを受賞された企業ならびにデザイナーの皆さま、心からお祝いを申し上げます。

商品開発にデザインを活かす取り組みを広めるために始めた「福岡デザインアワード」は、今年で17回目を迎え、

年を追うごとに質の高い、洗練された商品の応募が増えてきていることを大変うれしく思います。

経済のグローバル化が進み、新たな販路やマーケットを確保するためには、機能性とデザイン性を兼ね備えた、

付加価値の高い商品の開発力や提案力を高めていくことが重要になっています。

福岡県は、高度なモノづくり企業とデザイン事務所が集積する日本有数の地域です。

県ではこのような強みを生かし、県内4地域におけるデザイン開発ワークショップの開催、

平成26年に博多リバレインモール内に開設した「FUKUOKA DESIGN STAGE D12」での展示販売、

福岡アジアビジネスセンターによる海外展開を視野に入れた販路の更なる拡大など、

福岡県産業デザイン協議会と連携した取り組みにより、県内企業のデザイン力の向上や高付加価値商品の開発、販路拡大を推進しています。

今年度は、大賞を受賞した「アイスリット テープディスペンサー」をはじめ、

独創的なアイデアにより優れた技術とデザインが融合した機能性の高い商品が数多く見られました。

今後も、福岡デザインアワードを通じて、ますますデザインを活用した商品開発が進み、

多くの方に長く愛される福岡発の魅力的な商品が生まれ、日本全国、そして、世界に広がっていくことを願っています。

唐池 恒二 福岡県産業デザイン協議会 会長

Karaike Koji

福岡デザインアワードは、企業の皆さまにデザインをもっと身近な経営資源として活用していただくため、平成11年から実施しています。

17回目となる今回は、145社から165商品の応募をいただきました。

このうち、外部デザイナーを起用した企業は87社と過去最多となりました。

県内企業のモノづくりにかける情熱や、商品開発にデザインを活用する機運の高まりを感じています。

2日間にわたって開催した応募商品展示会では、多くの来場者を迎え、盛況のうちに終えることができました。

また、森田審査委員長をはじめ、各賞を選考いただきました審査委員の皆さま、

開催にご尽力いただきました関係者の皆さまに心より感謝を申し上げます。

「グッドデザイン イズ グッドビジネス」という言葉が示すとおり、優れたデザインはビジネスの発展へとつながります。

今回受賞された企業、また、ご応募いただいた企業の皆さまが、

デザインを活用した商品改良や新商品の開発に取り組まれることを期待しています。

福岡県産業デザイン協議会は、今後とも、企業の皆さまの商品企画・開発力の向上と、

企業とデザイナーとの活発な交流を支援して参ります。

引き続き、皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。



Total Appreciate

第17回福岡デザインアワード・総評

「福岡デザインアワード」と改称して3年目となる第17回福岡デザインアワードの2次審査が、平成27年10月21日（水）にアクロス福岡にて行われました。

今年度の応募件数は、昨年度よりやや減少（165件（145社））しましたが、意欲的で質の高い商品等の応募をいただきました。

昨年度と同数の21名の各界の専門家（実務家9名、大学等関係7名、流通関係5名）によって審査を行いました。

そしてゲスト審査委員には、デザイン力で日本そして世界を元気にするアッシュコンセプトのデザインプロデューサー・名児耶 秀美氏を招聘しました。

審査は、「商品の市場性」「地域産業への影響力」「デザインの独創性・新規性・先導性」の選定基準と、下記の6項目の審査の観点のいずれかにおいて優れたデザインを「福岡デザインアワード」に選定する方法で行いました。特別部門に関しては、「地域産業への影響力」に重点を置いて評価しました。

- 伝統技術を活かすなど、地域に貢献している。

- ビジネスの可能性を広げ、その波及効果が大きい。

- 技術面や機能面が優れている。

- 地球環境にやさしい、生活福祉の向上につながる。

- 新しいライフスタイルを提案している。

- パッケージ等ユーザーとのインターフェースに優れている。

審査は、各応募内容の事前確認と書類審査の1次審査を行い、展示会場において2次審査を行いました。

2次審査は、まず非公開で全商品等の書類及び実物、概要パネルなどによる審査委員投票による仮審査を行いました。

その後、7区分（生活環境、食品、繊維・日用品、家具・インテリア、産業・商業機器、情報・サービス、特別部門）別に分け、応募者別の詳細なヒアリングによる公開審査を実施しました。そして非公開の仮審査結果に、公開審査で得られた応募商品等の知見などを加えた審査委員協議によって賞の選考を行いました。

協議の結果、「第17回福岡デザインアワード」受賞候補42件を選出し、この42件の中から最も優れた「福岡デザインアワード大賞」を1件、

大賞以外の優れた商品等6件の「福岡デザインアワード優秀賞」と「ゲスト審査委員賞」1件、「特別部門賞」1件を、そして今年度新設された「Makuake（マクアケ）賞」1件を選出しました。

	応募区分	応募数	受賞数
1	生活環境	8	3
2	食品	56	10
3	繊維・日用品	53	14
4	家具・インテリア	30	9
5	産業・商業機器	6	2
6	情報・サービス	9	2
7	特別部門	3	2
		165	42

第17回福岡デザインアワードは、受賞商品だけでなく応募賞品も魅力的でクオリティの高く、受賞率が厳しかった昨年度の約24％と並ぶ約25％の受賞率となり、惜しくも僅差で選外となった商品が多くありました。

区分別の受賞数では、今年度も繊維・日用品が最多受賞の14件（内、大賞、優秀賞各1件）、次いで食品の10件（内、優秀賞2件、ゲスト審査委員賞1件）家具・インテリアは、9件受賞（内、優秀賞1件）、産業・商業機器、情報・サービス、そして特別部門は、それぞれ2件（内、産業・商業機器、優秀賞1件）の受賞となりました。今回は、福岡の基幹産業の一役を担う家具・インテリア区分が、応募数、受賞数ともに増加し受賞率が3割と躍進しました。

また、繊維・日用品と食品の区分は、安定したデザイン性の高さから、受賞件数が両区分で全体の6割近くを占め、その内、大賞と優秀賞3件が受賞するなど、今年度も福岡の人々が地域の資源を活かした創意工夫によって魅力的な商品に結びつけた優れた福岡デザインを代表する区分となりました。

今回、受賞件数がやや少ない生活環境、産業・商業機器、情報・サービスの区分ですが、3割から4割前後と受賞率は高く、オンリーワンのな福岡デザインのオリジナリティの高さが特筆されます。

また、「特別部門」は、「京楽の恵みを、全国へ、世界へ」を掲げた“地域特産品ブランド化事業”によるトータルデザインの取り組み「京楽セレクト」(里山商会、デザイン：カワノデザインスタジオ)が受賞しました。

大賞は、産学連携により開発された、繊維・日用品区分の「アイスリット テープデイスペンサー」

（福岡丸本、デザイン：小原 和晃、福山 克義他）が選ばれました。

テープの切断に金属の刃を必要としない、これまでになかったテープ「アイスリットテープ」のためのテープデイスペンサーです。

通気性と衛生性を満たしたフィルム微細加工技術により新開発されたテープは、病院や農家などの安全・衛生面が重視される用途に適した画期的な商材です。

そして、このデイスペンサーは、新開発のテープ特性に適應するデザイン検討と機能工学や人間工学による評価・検証実験などを通して製品化に導いた産学共同による技術とデザインによる成果が、審査委員一同で大賞に値すると高く評価されました。

繊維・日用品区分の優秀賞は、子どもがはじめて出会う調理道具「TONTON」(Cooking Room Happa、デザイン：スナオラボ)です。

安全で使いやすい九州産イチョウのまな板兼包丁スタンド、多用途布巾、子供用包丁がセットになった商品で、調理時のさまざまな使用状況を踏まえた機能性の高さと、なんととっても使いたくなるやさしい造形の融合が評価されました。食品区分での優秀賞2件は、北九州市の老舗茶舗の緑茶と老舗飴屋の金平糖を組み合わせ、カラフルで組み合わせ自由な優れたパッケージデザインにより提案した商品「日本茶と金平糖で『作る』和のギフト」(辻利茶舗 / 入江製菓、デザイン：SHIROKURO)と、高級食材の国産ウナギを少しでも身近なものとして低単価の冷凍食品で提供するなどの技術面での工夫や、大分県産の竹皮を用いて包み結ぶという人の手を感じさせるパッケージデザインなど、一貫したコンセプトで商品化された「うむすび」(御花、デザイン：にいざとめぐみデザインワークス)が受賞しました。

生活環境区分の優秀賞では、壁に取り付けるだけで部屋の中での会話をサポートする補聴パネル「FOR ALL AURAL SONIC」(AURAL SONIC、デザイン：アジアン・マーケット)の優れた技術力とパネルデザインに障害者職業訓練施設で能力を伸ばしたアーティストを起用するなど、ユニークな取り組みが評価されました。

家具・インテリア区分の優秀賞は、本物志向へのこだわりを持つユーザー向けに提案した、金属の特性をいかした精緻なデザインによる曲面のフォトフレームとヘッドフォンスタンド「FLOW I A/W Collection 2015」(三松、デザイン：ネクストデザイン)です。

そして産業・商業機器区分からは、病院や介護施設などで器械台など置く際にカーテンで仕切るスペースを広げることができる、これまで有りそうで無かったカーテンのレール軌道を分岐する「カーテンレール分岐ユニット」(エコ・スプリング)が、優れた着眼点を製品化に結実させたデザインプロセス、そして今後のビジネスの可能性も含め優秀賞となりました。

今年度もユーザー視点の独自の着眼点を魅力的で独創性の高い商品等に結びつけた“福岡デザイン力”が優秀賞をはじめ多数受賞するなど、デザイン活用が福岡の地域産業と生活文化を牽引する力となっていることを実感しました。デザイン活用は、ユーザーの立場に立って、より良い生活イメージを機能と感性の融合によって商品や仕組みなどの具体的な“かたち”に可視化し、事業に結びつけることです。また、その可視化には、作り手の想いをユーザーに的確に投影することが重要です。

惜しくも入賞に至らなかった企業も多くありましたが、それぞれ作り手のものづくりへの熱い想いが伝わる商品が多かったのが印象的です。次年度も、福岡から日本、そして世界へ発信できる“福岡デザイン力”による地域ブランド創出のために、多数の意欲的な応募を期待しております。

審査委員長 森田 昌嗣
（九州大学大学院芸術工学研究院・教授）

Judges 審査委員

○審査委員長
森田 昌嗣
九州大学大学院 芸術工学研究院 教授
デザインディレクター

○審査委員
青木 幹太
九州産業大学 芸術学部デザイン学科 教授

石田 文明
公益社団法人
日本グラフィックデザイナー協会
福岡地区代表幹事
株式会社 ディーライト 代表取締役

石村 一枝
株式会社石村萬盛堂
取締役

岩崎 充子
株式会社 井筒屋
本店営業政策室 営業推進グループ
販売促進担当課長

大倉 紀子
株式会社 ジャンスマリー
代表取締役

大庭 香代子
学校法人九州興学園
日本デザイナー学院九州校 校長

大歯 滋喜
九州大学産学官連携本部 アドバイザー

尾方 義人
九州大学大学院 芸術工学研究院
准教授

かねこしんぞう
株式会社 インデックスプラス
代表取締役

川上 裕嗣
株式会社 東急ハンズ
博多店 店長

清須美 匡洋
九州大学大学院 芸術工学研究院
教授

神谷 昌秀
福岡県工業技術センター
所長

重松 依子
株式会社 宣研
代表取締役

杉本 美貴
九州大学大学院 芸術工学研究院
准教授

鈴木 貴之
東神開発 株式会社
営業本部 営業企画部
MDグループ MD担当課長

津岡 卓央
株式会社 インキューブ西鉄
取締役営業部長兼天神店 店長

中島 浩二
西日本工業大学 デザイン学部
情報デザイン学科 准教授

中村 俊介
株式会社 しくみデザイン
代表取締役

野村 純
株式会社 ロフト
天神ロフト 館長

松下 美紀
株式会社 松下美紀照明設計事務所
代表取締役

○ゲスト審査委員
木内 文昭
株式会社 サイバーエージェント・クラウドファンディング 取締役

名児耶 秀美
デザインプロデューサー
アッシュコンセプト 株式会社
代表取締役

Award goods 受賞商品

○大賞
アイスリット テープデイスペンサー／繊維・日用品

○優秀賞
FOR ALL AURAL SONIC／生活環境
日本茶と金平糖で『作る』和のギフト／食品
うむすび／食品
TONTON／繊維・日用品
FLOWIA/W Collection 2015／家具・インテリア
カーテンレール分岐ユニット／産業・商業機器

○ゲスト審査委員賞
業務用小麦粉 10kg／食品

○特別部門賞
京楽セレクト（京楽地域特産品ブランド化事業）／特別部門

○入賞
PET DEODORIZER／生活環境
スラジャウト／生活環境
根根菜葉 甘辛ごぼう／食品
はちみつとフルーツの恵み あまおう／食品
抹茶金平糖 ココア金平糖／食品
博多運盛 運盛饅頭／食品
業務用小麦粉 10kg／食品
のりクロ／食品

かき水専用醤油／食品
アサヒ健康くん／繊維・日用品
smart fragrance／繊維・日用品
木匠の杉袋／繊維・日用品
工作キットシリーズTuNaGu／食品
アロマアクセサリー（シリーズ）／繊維・日用品
ニッポン ノ チタンものさし／繊維・日用品
曲げカップ「樽」／繊維・日用品
KONOITO 身につける／繊維・日用品
DAIKICHI（おみくじ収納チャーム）／繊維・日用品
献上ギターストラップ・献上カメラストラップ／繊維・日用品
宮田織物 はんでん「小夜千鳥」／繊維・日用品
癒しのインテリア「たまコロ」／家具・インテリア
博多活版 2016活版カレンダー／家具・インテリア
あかりのパッケージ／家具・インテリア
PICエAIR／家具・インテリア
SPACE INVADERS TATAMI／家具・インテリア
博多縁起もん／家具・インテリア
カワイイ イス キューブ／家具・インテリア
Mother Forest／産業・商業機器
LEDフラッシュライト／産業・商業機器
select9／情報・サービス
SMART ROOM SECURITY／情報・サービス

○Makuake賞
簡単やさしい工場の構築～アーバンファミリーファーム～／特別部門



01 繊維・日用品

アイスリット
テープディスペンサー

C/福岡丸本株式会社
D/九州大学大学院芸術工学院、福岡丸本株式会社

アイスリット テープディスペンサーは、通気性と衛生性を満たした微細加工技術を用い、今までの商品における金属刃による危険性、衛生性、環境性に対する課題を克服した画期的な新商品となっています。もちろん、テープ開発を含め、総合的な商品開発が不可欠ですが、それぞれのデザイン上の工夫も細部にまで施され、各委員の評価も好評です。さらに、産学連携(九州大学)による人間工学や機能工学の実証実験も含め、社会に対する明確な価値基準を提案でき、今後のより繊細な環境性能に適した商品、弱者環境に対する画期的な商品として非常に評価されました。よって、商品力はもちろん、社会への新たな提案力も含め、大賞に選出されました。(講評/清須美 匡洋)



C/Company:企業
D/Design:外部のデザイナー、デザイン企業を表しています。

Excellent Prize 優秀賞



02 生活環境

FOR ALL AURAL SONIC

C/AURAL SONIC株式会社
D/株式会社アジア・マーケット

高齢化社会対応商品で、独自の吸音材で構成されたパネルを壁に取り付けるだけで不要なノイズを取り除き音声を聴き取り易くする補聴パネルである。人の耳は周波数によって聴こえ具合が違う、反射音が母音帯を強調して聴き取り易さの改善に成功している。補聴パネル表面は、障害者支援施設「ホットライフ」で能力を発揮しているアーティスト達の作品でデザインされている。今後、高齢者周辺の人達、例えばお孫さんのデザイン画の採用など検討して行けばユーザーの支持も進むと考えられる。本補聴パネルの周波数による反射性能を日本文理大学工学部の福島学教授による解析がなされている点も高く評価された。(講評/大歯 滋喜)

Excellent Prize 優秀賞



03 食品

日本茶と金平糖で「作る」 和のギフト

C/株式会社辻利茶舗、入江製菓株式会社
D/SHIROKURO

寺田寅彦の物理学の研究に「金平糖の角の研究」があります。今では金平糖の製造方法は有名になりましたが、形と大きさと色は寺田寅彦だけでなく、多くの人を魅了してきました。その形と製造方法は老舗の飴屋さんによって篤実に質実に伝承されています。また伝統を継守しながら、新たな茶文化や茶産業の展開をめざす老舗のお茶さんの日々の営業と開発の努力があります。それらが日本文化や北九州を思う気持ちにより力強く結びつきました。その技術や伝統や気概や慕情を、パッケージが心地よい形、適切な大きさ、単体で安心でき複数で上品な楽しさのある和の色目、さらに詳細に検証された立体構成によりまとめられました。商品の企画・開発・デザインが見事につながった佳品です。(講評/尾方 義人)

Excellent Prize 優秀賞



04 食品

うむすび

C/株式会社御花
D/にいざとめぐみデザインワークス

歴史ある料亭御花によって、柳川名物うなぎのセイロ蒸しが高い再現性でおみやげになるよう丁寧デザインされています。もらった人が観光に訪れたいレベルであることから、地域への波及効果が大いでしょう。食の作り込みは素材レベルから山椒まで厳選されています。おむすびを包む孟宗竹の皮、七島イの紐は見た目の高級感だけでなく、電子レンジで温めたときの香りが広がるように工夫されており、食のシーンが観察されているようです。デザイナーが商品企画段階から参加し、長い時間をかけて一緒に商品を作り上げたストーリーは美しく、それゆえ商品からおもてなしの心が滲み出ています。理想的な企業とデザイナーとの関係に心温まります。(講評/中島 浩二)

Excellent Prize 優秀賞



05 繊維・日用品

TONTON

C/Cooking Room Happa
D/スナオラボ

子ども達に楽しく食の大切さを学んで欲しいと願う子ども料理教室の指導士のアイデアから生まれたまな板とスタンドだ。九州産のイチョウで作られた丸形のまな板は側面にカーブを付け、子どもが取り扱いやすく配慮されている。木製のまな板の弱点である水切りの問題は三角形のシリコンのスタンドを付けることで解決された。このスタンドは調理中には包丁立てに変身できる優れものでもある。まるで積み木みたいな丸や三角形の調理道具はきっと子ども達に楽しい時間を提供してくれるだろうし、大人のデザートタイムにもピッタリ。トントンという軽やかなネーミングや楽しいデザインの内に秘められた食文化への想いが、熱く伝わる良い作品だ。(講評/大倉 紀子)



06 家具・インテリア

FLOWIA/W
Collection 2015

C/株式会社三松
D/ネクストデザイン

モノトーンのシャープなデザインがとても魅力的であり、且つ機能面でも優れた商品である。フォトスタンドは面倒な作業が不要な、写真を簡単に挟める構造で、カーブをつけることで自立をするデザインもスッキリとしている。白黒写真を入れると、特に引き立ちそうだ。置き場所に困るヘッドホンも、安定して掛けられるよう工夫されたシンプルな美しいデザインのヘッドホン・スタンドに収納可。アルミニウムと黒い上質レザーとの色彩的、質感のコントラストは、インテリアにこだわる本物志向の大人に歓迎される商品となるに違いない。(講評/大庭 香代子)



07 産業・商業機器

カーテンレール分岐ユニット

C/株式会社エコ・スプリング

病院や介護施設等において、カーテンによる間仕切り空間の広さを用途に応じて簡単に変えることを可能にするカーテンレール分岐ユニット。鉄道レールのようにカーテンレールも分岐してしまった本商品は、単純な発想のようで実は奥が深く、ディテールまでしっかりとデザインされている。カーテンの開け閉めの際に分岐部分がグラグラして引っかけたり戻ってしまったりすることが無いように研究を重ね、デザインに落とし込み、実装しているところが「ありそうでなかった」商品を実現させている要因であり、非常に将来性を感じさせる。見た目ではなく機能そのものをデザインするという点においても、優秀賞にふさわしい。(講評/中村 俊介)



08 食品

業務用小麦粉 10kg

C/井上総合印刷株式会社
D/SUKEDACHI DESIGN

福岡は、皆が住みたい街のトップと聞きますが、モノづくりが盛んという意識は私にはありませんでした。審査していくと町ぐるみでブランドを作る試みや、さまざまな商材をデザインしている事に驚かされました。そしてそれらが品良くセンス良くまとめられており都会的な感性を持った人々が文化を大切にしながら表現していることに好感しました。その中でも、素材そのものにこだわり、キッチンとユーザーの目線でサイズダウンと言うかウエイトダウンされパッケージにその小麦を使うことによる夢のあるストーリーがクラフト紙の色の上に白でかわいらしいなかにもセンス良く表現され描かれているイラストのデザインに惹かれました。つつい見落とされてしまう加工食品の元になる素材そのものに対するデザインをあえて私は福岡の「素」を大切にしたい願いを込めて選びました。これからのデザインは、加飾では無く、引いていく中に人の温もりを感じるあたたかいデザインが大切とを感じるからです。(講評/名見耶 秀美)



09 特別部門

京築セレクト
(京築地域特産品ブランド化事業)

C/株式会社里山商会
D/カワノデザインスタジオ

株式会社里山商会の京築セレクトは平成26年度、福岡県補助金事業から始まり、域内の生産者・加工品事業者の積極的参画により、株式会社里山商会としての自主事業へ成長し、様々な商品ブランドを市場に送り出し、ひとつひとつの商品ブランドを丁寧かつ上質に地域産品ブランドクオリティとしてデザインコントロールしている点が非常に評価できます。今後のさらなる事業活動の発展性(域外貨獲得)を含め、今回の特別賞として選出しました。(講評/清須美 匡洋)



10 生活環境

PET DEODORIZER

C/Nais

天然植物精油フィトンチッドによる消臭・抗菌作用を活用した、ペット用消臭器である。フィトンチッドの効果については各種実験により裏付けられており安全性は高いものがある。消臭器本体は細部まで十分に詰めてあり、スキのないフォルムにまとめられている、また、消臭用PDカートリッジも色、形、手触り感も含めて好感が持てる等総合的に高い評価をうけた。(講評/大歯 滋喜)



11 生活環境

スラッジアウト

C/株式会社レンテック
D/ミカドヤ

水域環境のヘドロから発生する硫化水素を微生物で分解、干潟低質や養殖場水質などを改善する微生物製剤である。微生物は自然界由来のもので乳酸、酵母菌外からなる、これらの微生物培養液は食品基準など各種安全試験に合格。本製品は製品1個(1500ml)で平面50平方メートルをカバー。菌が住みつき効果が長持ちするなどが評価された。デザインもシンプルで浄化にマッチ、共感できる。(講評/大歯 滋喜)



12 食品

根根菜菜 甘辛ごぼう

C/有限会社丸峰食品

「ごぼう」の面倒な下ごしらえを終えた状態で、しかも優れた効能や風味はごぼうの皮の部分に集中していると言われ、その皮の部分を残しての仕上げはすばらしい。このまま土産として持っていきたいパッケージに仕上がっている。福岡県京築地区産の根野菜、葉野菜を使用した「根根菜菜」というブランドネーミングとシリーズ化していくという方向性はこれからの市場が求めているものと合っている。(講評/かねこ しんぞう)



16 食品

業務用小麦粉 10kg

C/井上総合印刷株式会社
D/SUKEDACHI DESIGN

通常25キロ単位が一般的だったこれまでの業務用小麦粉を10キロという少量化したアイデアに加え、業務袋に筑前の「麦プロジェクト」を表現したデザインを加えることで、店頭ディスプレイツールとしても利用価値が高いと評価を得た。袋自体の耐久性も活用できることから、バッグに作り替えたりする再生方法にも興味を持てる。業務袋のツールとしての新たな可能性を感じることが出来た。(講評/鈴木 貴之)



17 食品

のりクロ

C/株式会社高橋商店
D/株式会社エーワン

有明海で採れた二番海苔までしか使っていないという上質な素材ながら、瓶を使わず、チューブにしてカジュアルな使用場面を上手くデザインできています。さっと取り出してパンにつけたり、料理にひと味加える際に手早く使用できたりする点は、ユーザーの声を丁寧に拾い上げ、商品に反映したことが窺えます。ネーミングやパッケージデザインもその使用感を最適に表現してあります。(講評/中島 浩二)



18 食品

かき氷専用醤油

C/YK STORES株式会社
D/ミカドヤ

これまで想像しえなかったジャンルの組み合わせで、斬新な発想だ。近年醤油の醸造元が様々な食品向けに商品の開発を進める中、一番シンプルな「かき氷」に目を付けたところが老舗醤油醸造元の自信がうかがわれる。商品ラベルにおいても中身は醤油なのにもかかわらず、「氷」の一字でインパクトと存在感を強く与えている。また一つ、新たなNIPPONの醤油需要の誕生が期待できる商品です。(講評/鈴木 貴之)



13 食品

はちみつとフルーツの恵み あまおう

C/株式会社正栄

福岡県産のあまおう果汁とはちみつをブレンドし、朝食のトーストやデザートにヨーグルトなど幅広く使えるシロップである。粘度が高く、容器から出しにくいというはちみつのマイナス要素の払拭を目指して、開閉が容易なキャップや握りやすい雫型の容器が採用されている。容器のラベルはあまおうの写真を背景に商品の使用シーンをあしらうなど、消費者に訴求する工夫がされている。(講評/青木 幹太)



14 食品

抹茶金平糖・ココア金平糖

C/株式会社エスピープラン

伝統的な菓子はもともと小規模で流通範囲も狭く、しかし日本各地で多数存在していた。現代において社会環境が変わる中、そのような産業は縮小せざるを得なかった。しかし小規模でありながら真摯に技を伝承していった会社の製品に新たな価値を与えるのが企画や流通・販売デザインに役割であろう。そのような心粋の商品である。今後はさらに地域やユーザーも巻き込んだ商品展開を冀望する。(講評/尾方 義人)



15 食品

博多運盛 運盛饅頭

C/有限会社つちや
D/なかにわデザインオフィス

「ん」を贈り、「ん」を盛る、をコンセプトにした薯蕷饅頭。日本古来の縁起担ぎ「運盛」を現代のスタイルに合う縁起菓子として商品化。名前に「ん」のつく国産野菜を餡にして、山芋を使った生地でも包み蒸しあげた可愛いお饅頭です。パッケージも慶事・弔事・記念品など、幅広い用途に対応。伝統継承を基軸に、日本人の思いやりの「心」を見事に表現。洒落の効いたコンセプトも評価のポイントとなりました。(講評/岩崎 充子)



19 繊維・日用品

アサヒ健康くん

C/株式会社アサヒコーポレーション

最近の子供たちに足の障害が増えているようです。その原因は、はだしのままで外で遊ぶ機会が減り、足の過保護によりアーチ形成が阻害されているとのこと。アサヒ健康くんは、約6万人の子供の足型データをもとに大学、医療機関の協力を得て、足の正しいアーチ形成の為にだし感覚を実現しています。現代の育ち盛りの現代っ子のことを考えて作られた機能満載の子供用シューズだと思います。(講評/川上 裕嗣)



20 繊維・日用品

smart fragrance

C/アビエス製薬株式会社
D/トライシク

大学との共同研究により、「香りで痩せる」新しいライフスタイルの提案がされています。香りの種類が分かりやすくシンプルなデザイン。特にインセンティブ用に作ったスティックが素敵でした。基本仕様は統一。スプレー式、芳香式、ボトル式等キャップの形状を変えることでリネン、フレグランス、ダイエット等様々な用途に対応させ、かつコスト面も抑えているところが工夫されています。(講評/川上 裕嗣)



21 繊維・日用品

木匠の杉袋

C/株式会社イマムラ・スマイル・コーポレーション

杉の風合いが、安らぎを与えてくれます。国内の杉の間伐材を使用している為、環境にも優しい商品であり、価格もリーズナブル。この素材とデザインで魅力あるステーションナリー(ファイル・封筒等)を是非作ってほしいです。薄板を独自の技術で加工でき、商品開発の可能性の広がりを感じました。(講評/川上 裕嗣)